

年齢はただの数字

白山中学校 二年 牧 向日葵

私の祖母は今年で七十二歳です。けれども、「年齢はただの数字」という言葉をモットーに色々なことにチャレンジをしています。そんな祖母が今夢中になっていることと、今年から挑戦することについてお話しします。

まず、祖母が今夢中になっていることはピアノです。時間があればすぐにピアノの練習をしています。祖母がピアノを始めたのは七十歳の時で念願のピアノだったそうです。祖母が一番最初にピアノを習いたいと思ったのは小学生の時でした。しかし、昔はピアノを習えるのはお金持ちの家の人だけだったので、とても懂れていたそうです。祖母は高校生からギターをやっていますが、ピアノはできずじまいでした。しかし、孫の私がピアノを習った時にまた祖母からピアノをやりたいという意欲がわいてきたそうです。そして、私がピアノを辞めるので家にあったピアノを処分しようとした時に祖母が「ピアノをやるときは今だ。」と思い決心をしたそうです。

近所のピアノ教室を見つけて、祖母はピアノを習い始めました。一番最初に弾いた曲は「よるこびの歌」で弾けた時にとでもうれしく、「こんな世界があったのか。」と感動したそうです。仕事と家事をこなしながらピアノを楽しむ祖母の姿はとても印象に残っています。

ところが、七十一歳の半ばに脳動脈瘤がわかり手術をしました。仕事も辞めて、大好きなピアノもできなくて祖母はおちこんでいました。いつも明るい祖母なので見えて苦しかったです。

病気が一段落し、時間ができたので祖母はピアノの練習をより一層がんばっていました。「ホメられなくても、上手くならなくても良い。やりたいことをやっているよるこびを感じながら、自分のために弾いている。」この言葉を目をキラキラ輝かせながら言っていた祖母を私は本当に尊敬しています。私もやりたいことをやらせてもらっているの、より感謝をしながら楽しもうと思いました。

祖母は今、九月にある発表会のために映画「ロミオとジュリエット」のテーマ曲を毎日練習しています。

次に祖母が今年から挑戦しようとしていることは四国八十八箇所巡りです。別名「お遍路」ともいわれていて四国にある八十八箇所のお寺を巡ることで、煩惱が取り除かれ、ご利益がもたらされると信じられている四国の伝統文化です。

香川県出身の祖母にとって身近にあったお遍路もいつかやりたいと思っていたそうです。去年の三月に私と祖母二人で行った香川県での旅行のときに、祖母はお遍路をやるうと決意しました。宿で、八十八箇所巡り途中の方々と出会って話を聞いたときに、祖母の心が動きました。私も一緒に話を聞いていて、八十八箇所巡りは体力的にも、精神的にも苦しいけれど、苦勞してたどりつくお寺はとても魅力的なんだろう

な、と私の心も動きました。それから祖母は四国八十八箇所巡りについて、本を読んだり、YouTubeで調べたり、服やリュックを買って少しずつ準備をしていきました。

ついに、今年の十月から祖母は「つなぎ遍路」という方法で四国八十八箇所巡りを始めます。「つなぎ遍路」とは、八十八箇所を一気にまわると四十日程かかるので、少しずつ行くやり方です。祖母は今回香川県だけを五日間でまわります。今年はどういう年なので、反対の八十八番目の大窪寺から始めるそうです。

祖母は九月にあるピアノの発表会と、十月から始まる四国八十八箇所巡りをモチベーションに毎日がんばっています。私も祖母のように何事もためらわずにチャレンジし、失敗も楽しめる人になりたいです。